

左官以外でも施工ができる リフォーム向きの商品も登場

住宅設備・建材選びの
ココがポイント

「塗り壁」顧客満足度高い調湿機能持つ壁材

健康意識の高まりとともに、ビニールクロスに代わる壁材として見直されているのが塗り壁だ。従来は工期の長さや職人確保の必要性などがネックとなっていたが、こうした問題を解決する商品も登場してきている。塗り壁リフォームの可能性と商品選びのポイントを探った。

施主のニーズと現実のギャップがチャンス
近年の健康意識の高まりから、塗り壁の持つ調湿機能やナチュラルな質感に対するユーザーのニーズが高まっている。一方で、内装

メリット	ナチュラルな質感	調湿効果あり	意匠性が高い
従来の問題点	左官が必要 解決！⇒クロス職人でも施工できる商材が登場してきている。	工期が長い 解決！⇒クロスの上から施工することで工期2日のタイプも登場。	クラックの発生 ほぼ解決！⇒壁紙を最初に貼ることでクラック発生を大幅に削減

壁の9割以上にビニールクロスが利用されている現状。このギャップにこそ、付加価値の高いリフォームとして塗り壁を検討するメリットがある。ビニールクロスの壁に満足していない人や、幼い子供をもつ家庭やデザインにこだわりをもつ人の潜在需要は非常に高いと言える。

**新JIS規格
吸放出性70g/m²以上が基準**
2008年10月1日からスタートした新JISの規格では、吸放出性が70g/m²以上ある製品に対し、調湿機能を持つものとして認定している。こうした基準をクリアしたものであれば、施主に対して根拠を持ってオススメできる。

1棟あたりの施工期間は7日かかるのが一般的
ただ、今だビニールクロスが圧倒的に多いのは、工期の問題がある。左官材料は現状のクロスをはがし、下

地処理をして乾かすため、施工に1棟の住宅で7日間かかる。加えて左官職人の確保が必要不可欠で、リフォーム会社は抱えていないケースが多い。

しかし、近年は、わずか2日で乾く塗り壁が開発され、ヘラやローラーを使い、クロス職人でも施工できる短期の塗り壁も登場してきており、従来の問題

点は解決しつつある。**健康志向の強い現代に向けた部材**

塗り壁の提供価格は、45000〜70000円/m²ほど。40〜60m²で18万〜42万の価格になる。

ビニールクロスよりは割高だが、塗り壁ならではのナチュラルな質感や安心感に対するニーズは高い。デザイン的にも塗り方と色でパリエーションが広く、魅力が高い。

健康志向の強い現代だからこそ、付加価値の高いこうした部材を積極的に活用していきたい。

どんな商品？
主に自然素材を使った左官材料

何に使える？
住宅の内装壁に主に利用

一番の魅力
独自の意匠性と調湿機能を持つ

使用上注意
下地等の問題でクラック発生の可能性がある